

武庫川女子大学・環境共生学部・環境共生学科 2026年度カリキュラムチャート

MUKOGAWA COMPASS	1.多様化・複雑化する社会を理解する力	2."生きること"につながる専門性	3.自己を尊重する姿勢	4.失敗を恐れず挑戦する姿勢	5.逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	6.論理的に考え伝える力	7.新たな価値を創造する力	8.多様な人々と協働する力
ディプロマ・ポリシーの項目	環境共生社会の実現に向けた基礎的知識や汎用的な技能に加えて英語・ITなど基礎的リテラシーを有している。	環境を構成する基礎的な要素の理解に基づいてキャリアや社会貢献につながる専門的知識を修得し、利用することができる。	豊かな人間性と自信を備え、多様な思考や価値観を持つ他者を理解・尊重しつつ、協働に貢献する姿勢を有している。	環境問題を通して社会に貢献するために、失敗を恐れず新しい課題を見つけ出し、挑戦する姿勢を有している。	社会貢献における困難に対して、自らの可能性を信じることを他者からの支援を仰ぐことを通じて視野を広げ、より良い選択を探索する姿勢を有している。	様々な事象を定量的・論理的に解析し、その結果を科学的根拠に基づいて分かりやすく表現するコミュニケーション能力を有している。	持続可能な共生社会の実現に向けて、柔軟な発想や視点の転換により新たな価値を生み出すことで、諸課題の解決につながるることができる。	志向性・価値観の異なる他者へ主体的に働きかけ、協働を通して互いの価値を認め、信頼関係を構築することができる。

期待する能力	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
生物機能の分子レベルでの理解に基づいて、物質生産・環境修復などのデザイン・設計に応用するための知識を有している。	基礎生物学	細胞生物学	環境微生物学 バイオマスエネルギー学 環境生物有機化学 バイオテクノロジーⅠ (分子生物学) 環境レメディエーション工学 高分子化学	植物生理学 バイオテクノロジーⅡ (遺伝子工学) バイオテクノロジーⅢ (細胞工学) 環境・バイオ産業論	バイオマス利活用工学	毒性学		
自然環境や人工物を構成する基礎的な要素（エネルギー変換、化学物質の特性、地球科学、生物多様性など）の理解に基づいて、それらを環境の管理や生態系のデザイン、化学物質の合成・利用に応用するための知識を有している。	基礎環境工学 基礎化学	生態学 地球科学 合成化学 生命情報科学	分析化学 環境イメージング技術 環境放射線工学 環境エネルギー概論 物理学と環境工学	生命と地球環境 防災技術Ⅰ	防災技術Ⅱ 水質管理工学 グリーンケミストリー 資源循環工学 環境エネルギー技術 生息工学	高機能材料工学		
サステナブルな環境共生社会の実現に向けた、世の中の動きや仕組み、生態系を含む地域環境と社会活動の関係性を理解し、ソーシャルデザインを行うための知識を有している。	情報リテラシー 環境問題概論	環境経済学	環境アセスメント論	環境教育論 環境政策論 資源管理論	NPO・NGO論 エコウィズ論 世界遺産学			
社会が抱える様々な環境問題から解決すべき課題を抽出し、様々な工学的アプローチからの論理的な解決案を思考・提案できる。	フィールド・環境施設実習	社会連携プロジェクトⅠ	社会連携プロジェクトⅡ	プロジェクト・コミュニケーションⅠ	プロジェクト・コミュニケーションⅡ		卒業研究・活動	
豊かな人間性を備え、多様な志向性や価値観を持つ他者を理解・尊重しつつ、グループワーク等の協働に貢献することができる。	初期演習Ⅰ	初期演習Ⅱ (環境共生学)						
生物機能、化学的・物理的性質などの観測・計測を適切な手法で行い、その結果を分析評価することができる。		基礎実験	物理学実験 ラボローテーション実習Ⅱa ラボローテーション実習Ⅱb	ラボローテーション実習Ⅲa ラボローテーション実習Ⅲb				
環境の現状や変化の推移を適切な測定手法を用いて実施し、その結果を定性的・定量的に評価することができる。		データ分析・統計学	分析化学	環境情報工学 機微分析学 地学実験	環境モニタリング 環境技術実験			
様々な事象を定量的・論理的に解析し、その結果を科学的根拠に基づいてわかりやすく表現するコミュニケーション能力、プレゼンテーション技術を有している。			環境英語Ⅰ	環境英語Ⅱ	環境英語Ⅲ 環境英語演習 (留学プログラム)	環境英語Ⅳ	環境研究英語Ⅰ	環境研究英語Ⅱ
サステナブルな環境共生社会の実現に必要な地球環境の多様性を認識し、その保全や課題解決に向けて、他者へ主体的に働きかけを行う態度、志向性を有している。	エコウィズ実習 SDGs論 環境共生学入門				環境教育実践 野生生物管理工学			
サステナビリティへの志向性・価値観の異なる他者への働きかけも含むチームワーク・科学に基づく知識・技能・思考判断力・工学的課題解決法、および積み重なる経験を相互に結びつけ、抜粋・一般化し、より高いレベルで社会の諸課題の解決に向かって行動・応用することができる。	フィールド・環境施設実習	社会連携プロジェクトⅠ	社会連携プロジェクトⅡ	プロジェクト・コミュニケーションⅠ	プロジェクト・コミュニケーションⅡ		卒業研究・活動	

太字（下線付き）は
必修科目または選択
必修科目

基礎科目

問題・課題の認識

体験・技術習得

4つの学びの領域

ソーシャルデザイン

環境管理技術

エネルギー・資源・
化学物質の利用

生物学

研究・プロジェクト

学科科目とは別に教養として共通科目を1〜4年次で履修

英語科目としてTOEIC認定英語Ⅰ〜Ⅳを設定